

## 生活リズムや交通量の変化

GWの交通事故注意 ◆前半3日間 午前0時、午前11時台多発◆

2016年04月26日Tweet

愛知県警は、過去5年間の大型連休（ゴールデンウィーク＝GW）中に県内で起きた交通死亡事故38件の発生状況や原因の分析結果を発表した。午前0時台と午前11時台、前半3日間で特に多発傾向がみられるといい、県警は「油断せず、事故のない楽しい連休を」と、安全運転を呼びかけている。

午前0時台の事故は、知人らの送迎途中などに幹線道路で起きるケースが目立ち、脇見や考え事をしながらの運転などが原因だった。同対策室は「生活のリズムが崩れ、深夜に集中力や判断力が下がったことが事故につながっている」と指摘する。

一方、午前11時台の事故では、買い物や通院途中の高齢者が、近所の道路で軽乗用車や原付きバイクを運転中に起こす事故が多い。同対策室は「幹線道路の渋滞を避け、身近な道路を利用する車が増えるためではないか」と分析している。

また、前半3日間に多発する傾向については、帰省や行楽などで普段はあまり運転しないドライバーが増えることや、交通量の急激な変化にドライバーが慣れていないことなどが背景にあるとみられる。マイカーなどで遠出する機会が増えるGWを前に、「生活リズムや交通量の変化に十分注意を」と話している。

「なれた道・なれた仕事」に注意！

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分にとろう！ 追突を未然に防止しよう

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！ 自分の命

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”事故に注意しましょう

- 一時停止 ⇒ 二度停止
- 前車発進 ⇒ 2秒後に発進

気のゆるみ…飲酒運転厳禁！

気のゆるみ スピード出し過ぎていませんか？

## ユニック車がブームを下げ忘れ

JRの架線に接触、列車18本が運休、3000人の足に影響

2016.4.28

23日午後1時ごろ、栃木県のJR東北本線の踏切で、ユニック車がブームを上げたまま通過しようとして架線と接触する事故を起こした。同線は18本の列車が運休し、約3000人の足へ影響がでている。踏切には警報機や遮断機が設置されている。ユニック車はブームを下げ忘れのまま踏切に進入。架線と接触し、一部を損壊させた。警察ではトラックの運転者から事情を聞くとともに、事故発生の経緯を詳しく調べている。

## 「わき見運転をした」

幼稚園バスが、道路標識に衝突、園児数人ケガ

◇動かないものに衝突…それでも、プロドライバー？◇

2016年4月27日(水)14時15分

27日午前8時半頃、千葉県の県道で、「道路標識と幼稚園バスがぶつかった」とバスに乗っていた女性職員から110番通報があった。警察によると、バスには当時、園児ら約20人が乗っていて、園児全員が病院に搬送され、このうち数人が口の中を切るなどの軽いケガをしたという。現場は見通しの良い直線道路で、バスを運転していた7歳の男性は、「わき見運転をした」と話しているということです。

## 「昨夜の酒が残っていたのかもしれない」

登校児童の列に酒気帯び運転の車、女児4人けが（続報）

2016年4月27日(水)10時32分

27日午前7時15分頃、長野県で、集団登校中の小学生の列に軽トラックが突っ込み、女子児童4人がけがをして病院に搬送された。警察は、運転していた無職の男（77）の呼気から基準値を超えるアルコールが検出されたことから、道交法違反（酒気帯び運転）の疑いで現行犯逮捕した。調べに対し、男は「昨夜の酒が残っていたのかもしれない」などと供述しているという。男の車は対向車線にはみ出して縁石を乗り越え、歩道上の児童の列に後ろから突っ込んだとみられる。

## 信号の無い横断歩道で…登校中の小学生2人はね 22歳女を逮捕

2016年4月27日(水)18時39分

27日午前8時ごろ、宮城県で、横断歩道を渡っていた登校途中の小学2年の男子児童2人が軽乗用車にはねられました。2人は病院に搬送されましたが、命に別状はないということです。警察は、車を運転していた市内の事務員の女性容疑者（22）を現行犯逮捕しました。現場は信号機のない横断歩道でした。